

伊丹市の学力の現状と対策

(令和5年度全国学力・学習状況調査結果)

1. 平均正答率

【小学校】

	国語	算数	合計
伊丹市 _(%)	69	65	134
全国 _(%)	67.2	62.5	129.7

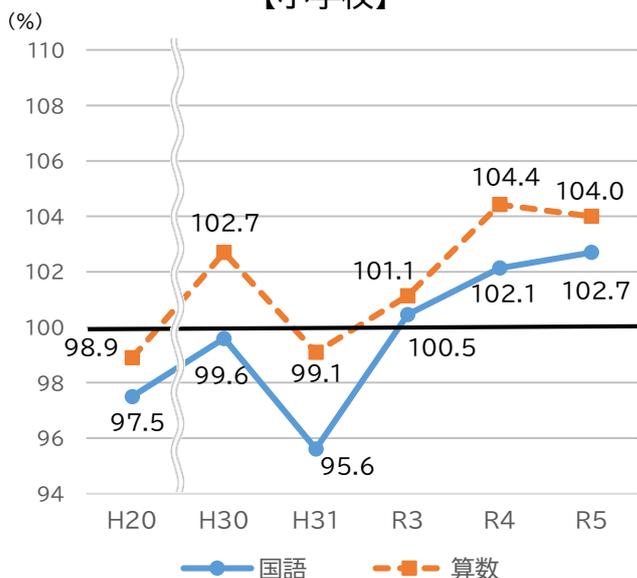
【中学校】

	国語	数学	英語	合計
伊丹市 _(%)	72	56	48	176
全国 _(%)	69.8	51.0	45.6	166.4

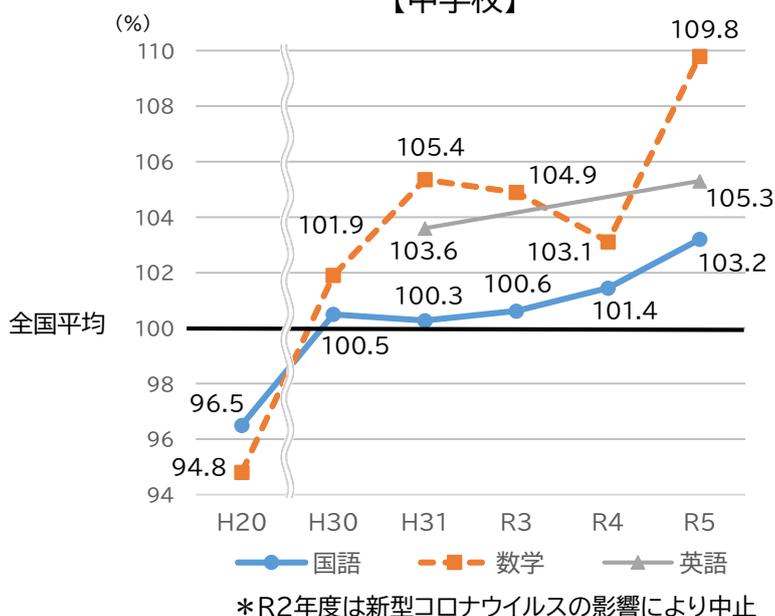
2. 平均正答率の経年変化

全国の平均正答率を100とした場合の伊丹市の平均正答率の推移

【小学校】



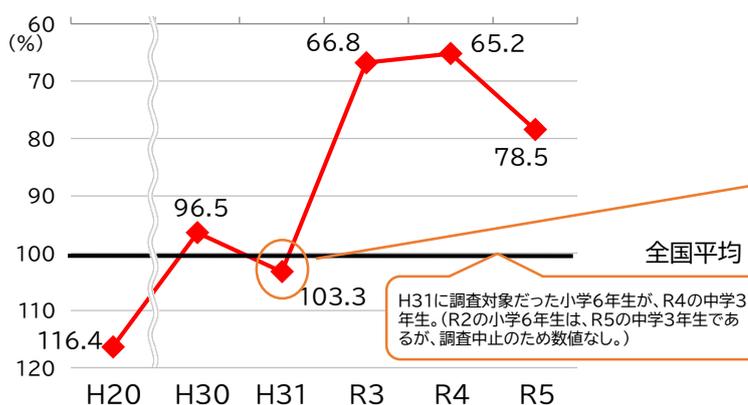
【中学校】



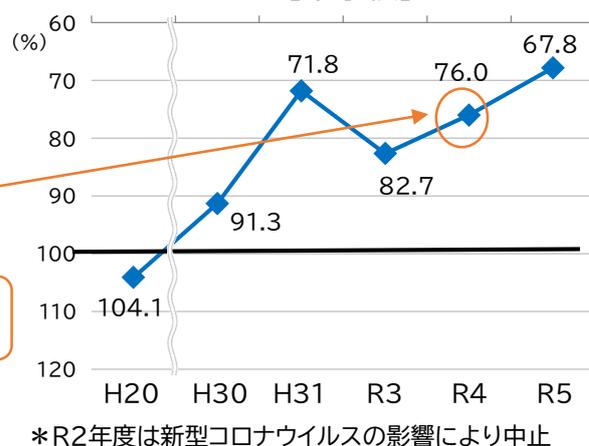
3. 無解答率の経年変化

全国の無解答率を100とした場合の伊丹市の無解答率の推移 (国語と算数・数学の合計) *数値が低いほど、無解答が少ない

【小学校】

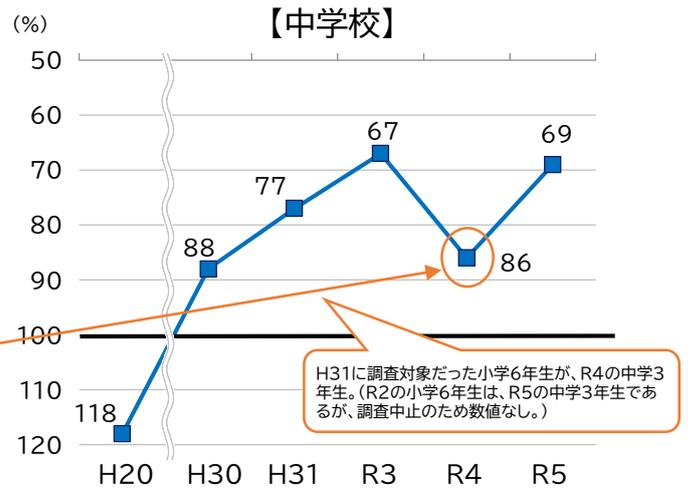
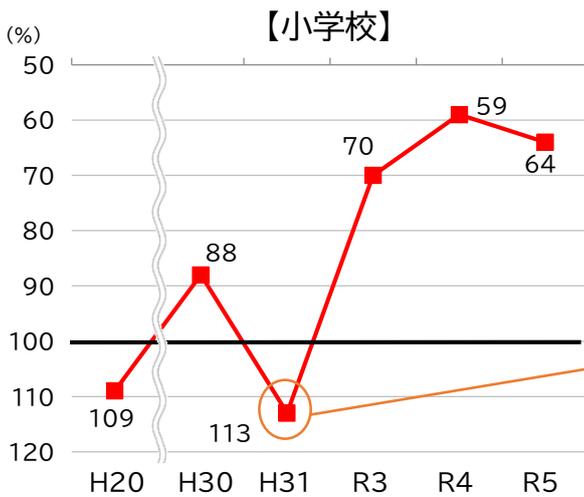


【中学校】



4. 学力低位層の経年変化

全国の学力低位層(正答率20%以下)の割合を100とした場合の伊丹市の学力低位層の推移
 *数値が低いほど、学力低位層が少ない



*R2年度は新型コロナウイルスの影響により調査中止

5. 学習状況調査結果(主なもの)

質問事項	小学校		中学校	
	伊丹市	全国	伊丹市	全国
① 自分には、よいところがあると思いますか 重点	82.8	83.5	80.5	80.0
② 朝食を毎日食べていますか	92.3	93.9	90.9	91.2
③ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.4	81.0	77.1	78.0
④ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか 重点	64.5	70.7	50.2	55.0
⑤ 普段(月～金)、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか(1時間以上の割合)	59.2	57.1	65.1	65.8
⑥ 普段(月～金)、1日当たりどれぐらいの時間、読書をしますか(1時間以上の割合)	17.5	18.5	11.7	13.8
⑦ 国語の勉強は好きですか 重点	61.5	61.5	56.3	61.4
⑧ 国語の授業の内容はよく分かりますか	85.0	85.7	77.2	80.0
⑨ 算数(数学)の勉強は好きですか 重点	61.7	61.4	51.4	56.7
⑩ 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	80.1	81.2	70.6	73.3
⑪ 英語の勉強は好きですか 重点	65.7	69.3	57.2	51.9
⑫ 英語の授業の内容はよく分かりますか			69.1	63.9

(%)

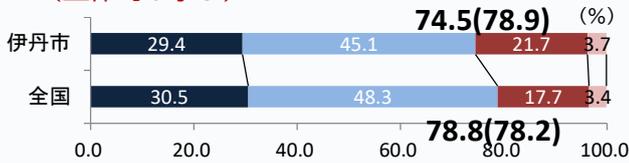
調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です

6. 主体的・対話的な学びと平均正答率との相関

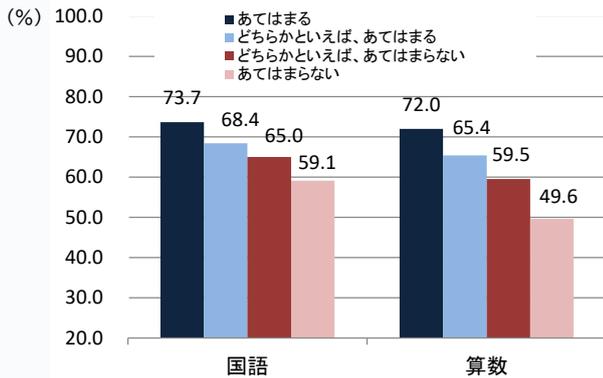
* ()内はR4年度

【小学校】

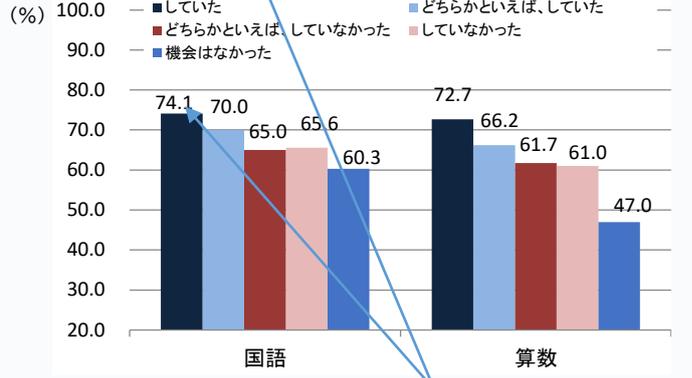
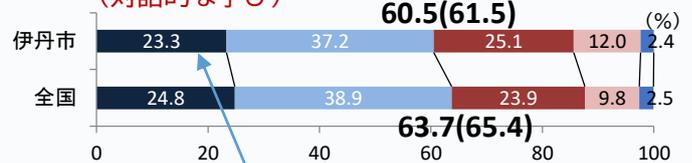
① 今までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
(主体的な学び)



(平均正答率)



② 今までに受けた授業で、自分の考えを发表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して发表していましたか
(対話的な学び)

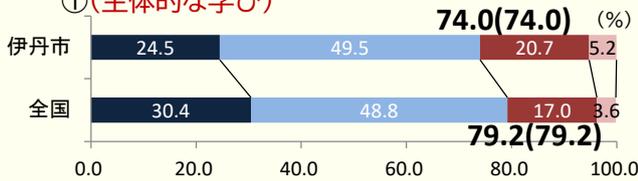


質問に対する回答別の児童の正答率を表している
例) 小学校②において、「していた」と回答した児童は23.3%であり、その児童らの平均正答率は74.1%であった

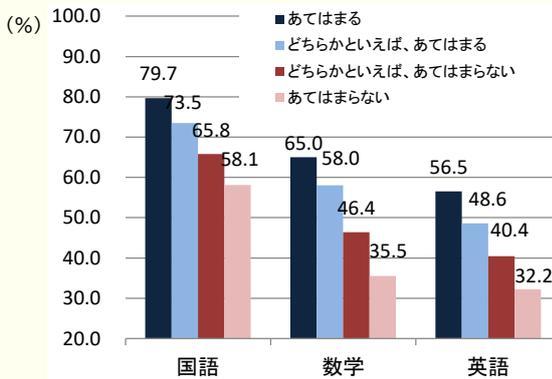
【中学校】

* ()内はR4年度

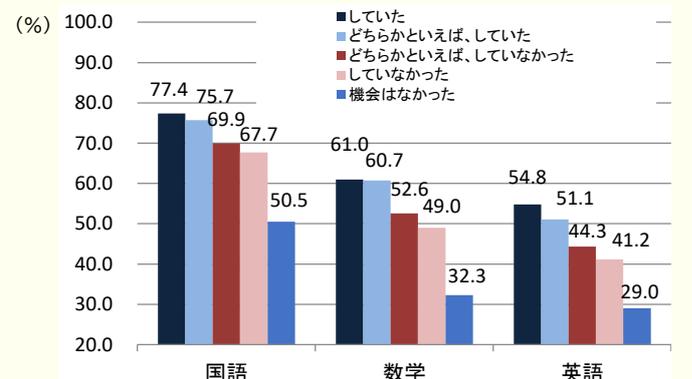
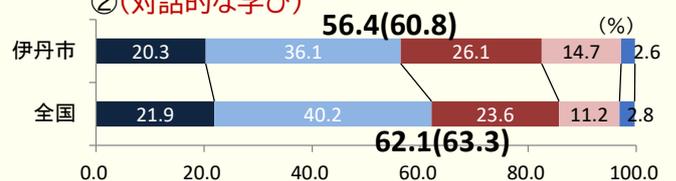
① (主体的な学び)



(平均正答率)



② (対話的な学び)



現 状 : ・ 平均正答率は上昇傾向にあるが、主体的・対話的に学んでいる児童生徒が昨年度より減少している
・ 主体的・対話的に学んでいる児童生徒ほど平均正答率が高い

対 策 : ・ 子どもの興味や関心を大切に授業改善を図る
・ 子ども自身が単元や授業において学習を見通したり、振り返ったりする場を設定する

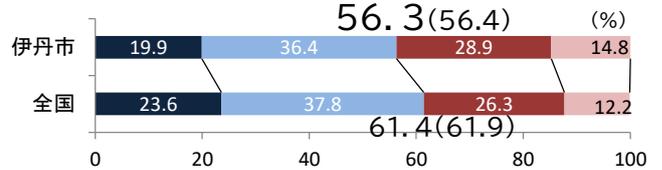
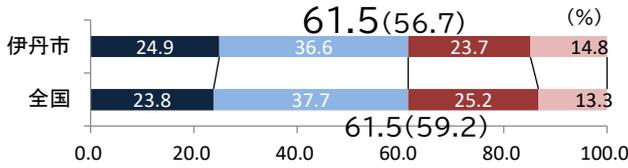
7. 「教科の勉強が好き」と平均正答率との相関

① 国語の勉強は好きですか

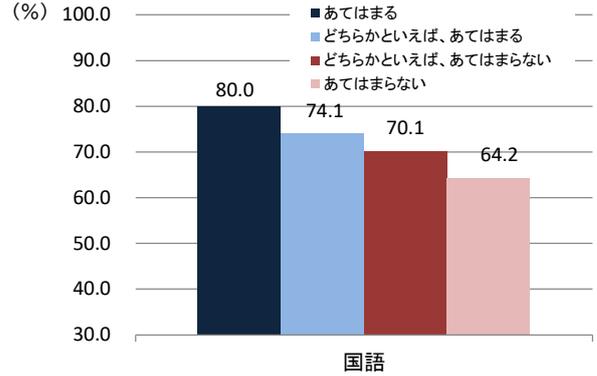
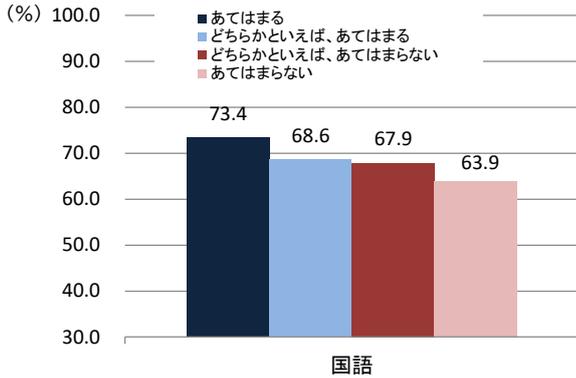
* ()内はR4年度

【小学校】

【中学校】



(平均正答率)

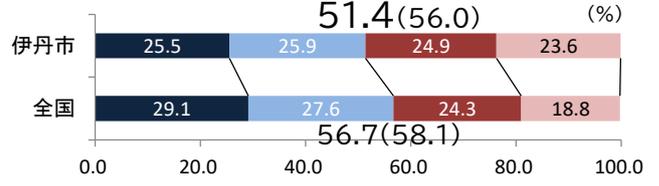
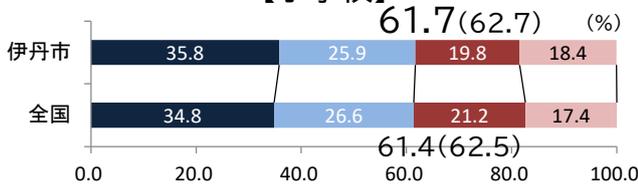


② 算数(数学)の勉強は好きですか

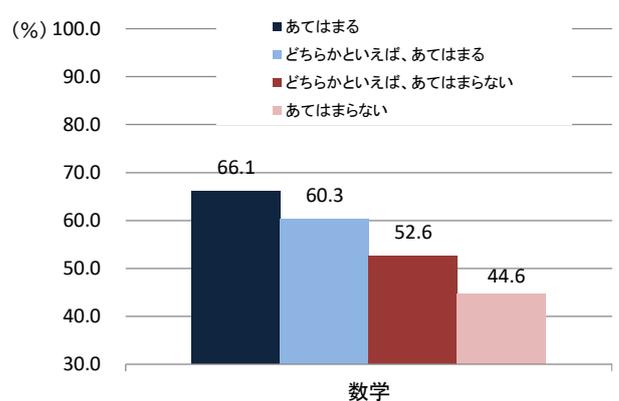
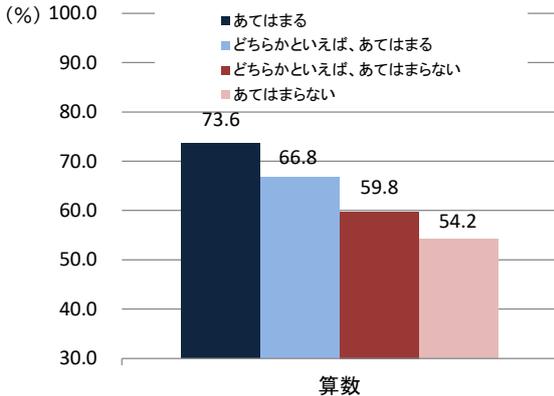
* ()内はR4年度

【小学校】

【中学校】



(平均正答率)



現 状 : ・ 小学校国語の勉強が好きで児童は増えたが、中学校数学の勉強が好きで生徒が減少している(中学校英語の勉強が好きで生徒は全国平均よりも多い)
 ・ 教科の勉強が好きで児童生徒ほど平均正答率が高い

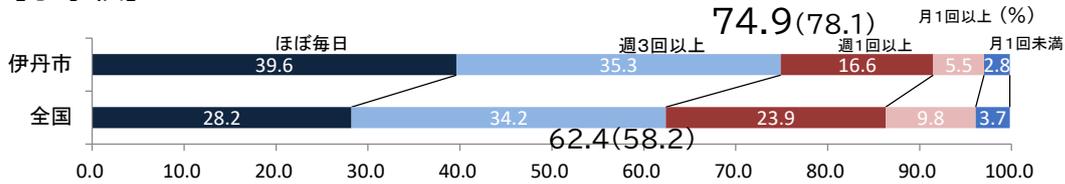
対 策 : ・ 学習内容を身近な生活と結びつけるなど、教科の楽しさが伝わる授業を実践する
 ・ 子どもが学びの主体となる「主体的・対話的で深い学び」を実践する

8. ICTの活用と平均正答率との相関

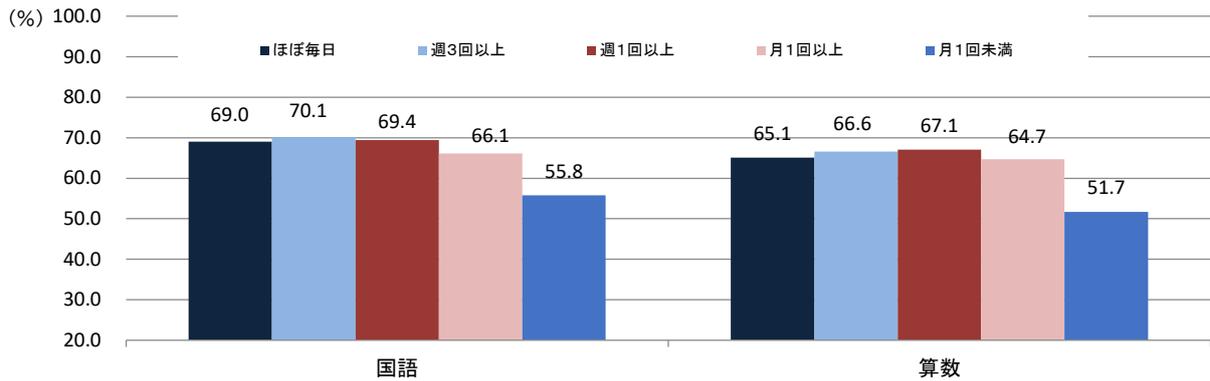
これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

* ()内はR4年度

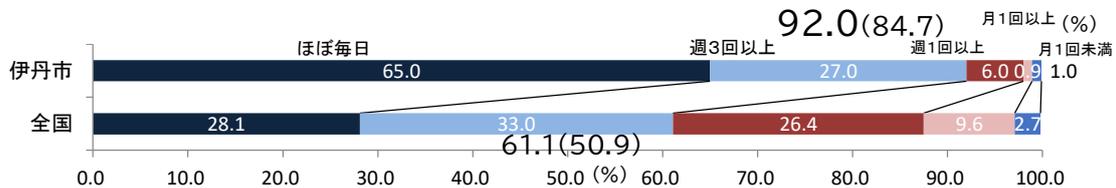
【小学校】



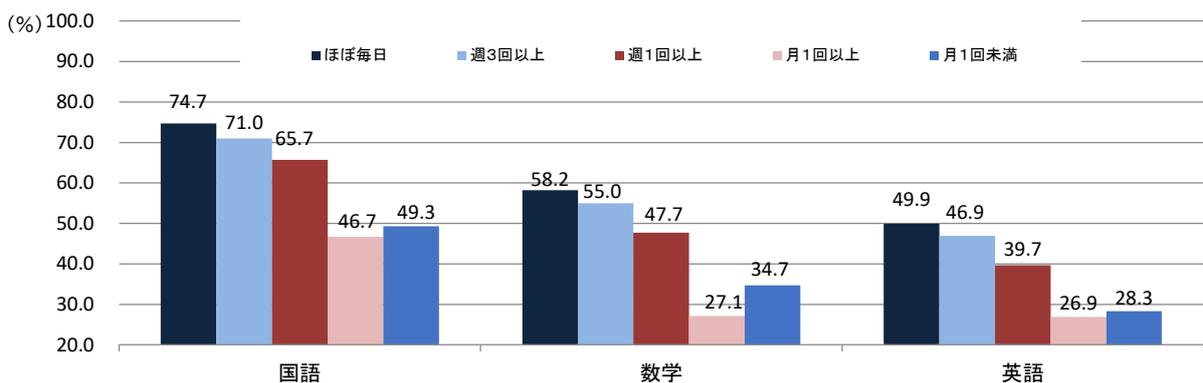
(平均正答率)



【中学校】



(平均正答率)



現 状 : ・ ICT機器を日常的に使用している児童生徒が全国平均よりも多い
 ・ 小学校においては、使用頻度と平均正答率との相関が昨年度に比べ弱くなっているが、平均正答率が上がっていることから使用場面の精査などが進んでいると考えられる

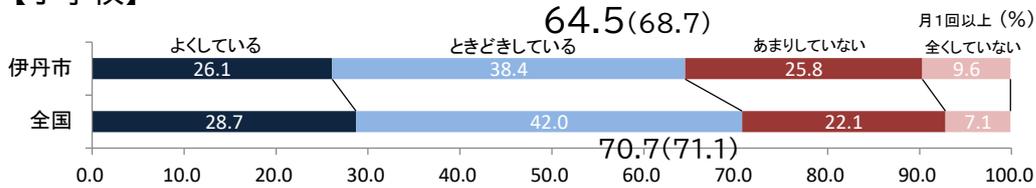
対 策 : ・ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるためのICT機器の効果的な活用法を継続して研究し、実践の共有を進める

9. 家庭学習と平均正答率との相関

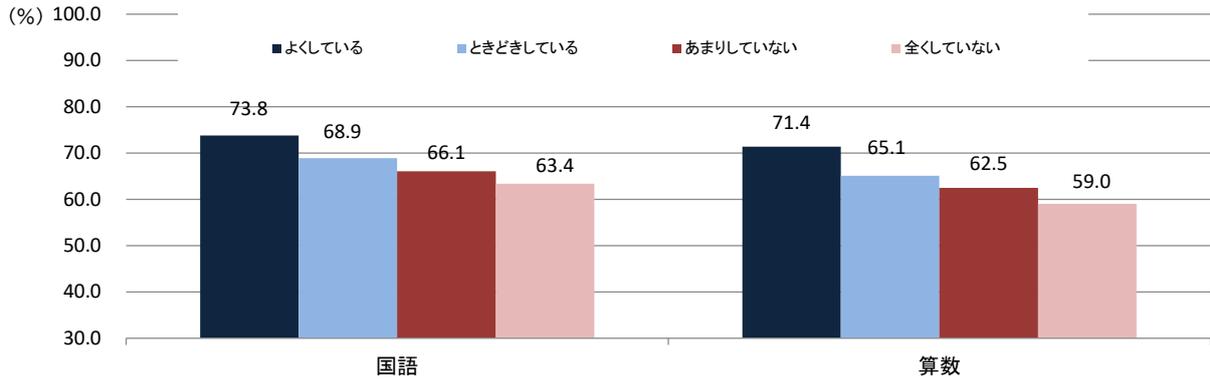
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

*()内はR4年度

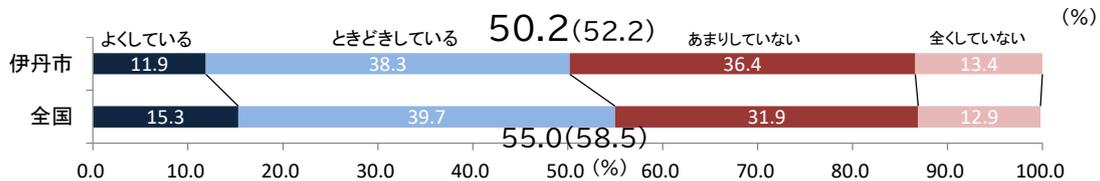
【小学校】



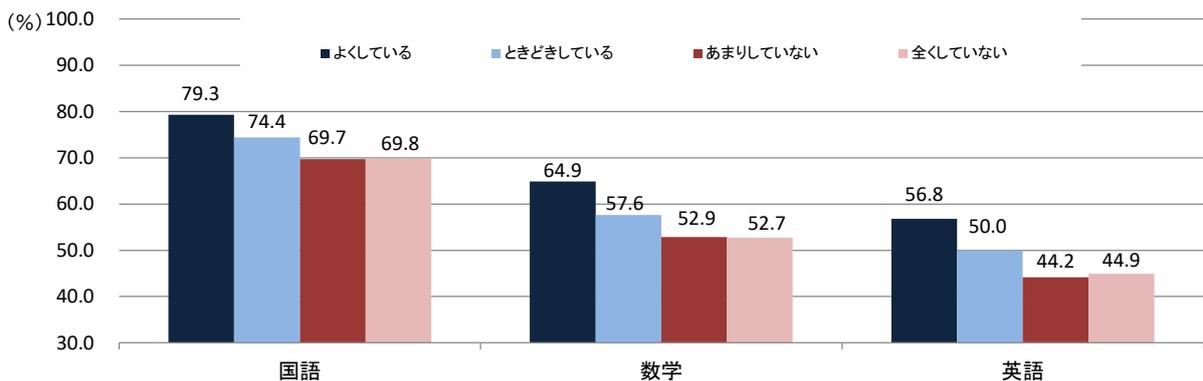
(平均正答率)



【中学校】



(平均正答率)



現 状 : ・家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒が全国平均よりも少ない
 ・家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒ほど平均正答率が高い

対 策 : ・学習習慣の確立や主体性の育成に向け、教師主導の家庭学習だけでなく、子どもが自ら学習課題を設定し、取り組めるようにする
 ・デジタル教材の活用を推進する
 ・土曜学習や体験等を通して、子どもの学びへの興味・関心を高める

10. 結果分析

令和5年度全国学力・学習状況調査問題 小学校国語(大問1二)

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書くこととして書いています。あなたが川村さんなら、
 どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

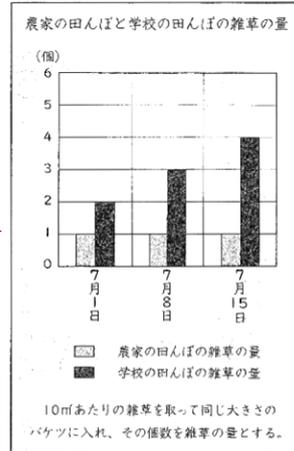
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゅんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイ くらべてみました。ウ きかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下じゅんにお米をしゅうかくすることができました。

（条件）
 ○ 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
 ○ 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
 ○ 六十文字以上、百文字以内にならめて書くこと。

【カード④】

7月20日

[農家の石山さんのお話]

- ・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
- ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日

[学校でできる解決方法]

- ・雑草取りの回数を増やす。
- ・雑草取りの人数を増やす。

小学校国語において、唯一全国平均を下回った問題

正答率 伊丹市 23.9%
 全国 26.7%

無解答率 伊丹市 7.0%
 全国 7.1%

改善策

自分の考えが伝わるように、**図表やグラフ**などを用いながら、条件に合わせて記述する場面を**意図的に**取り入れる

(解答例)

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。

課題

複数の情報から自分の考えをまとめ、条件に合わせて書く力に課題がある

（条件では、問題点について、グラフとカード④のそれぞれから書くこととされているが、38.3%の児童がいずれかだけの方法から記述した。）

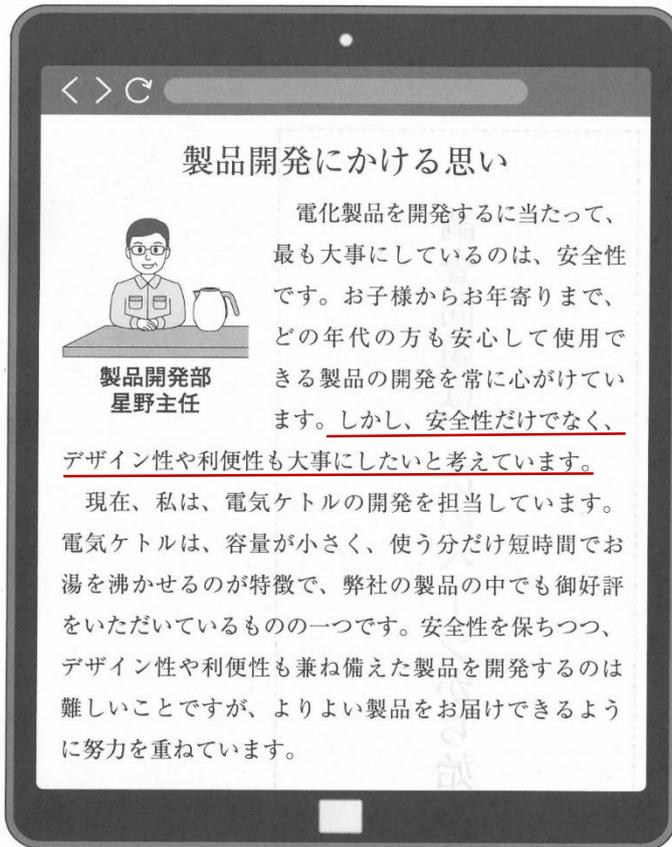
出題傾向

グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が問われている

1

南さんは、総合的な学習の時間に、「社会で働く上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。インターネットで情報を集めていた南さんは、電化製品を開発している星野さんの記事に興味をもち、会社を訪問して星野さんにインタビューをしました。次の「インターネットの記事」、「インタビューの前に準備したメモ」、「インタビューの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インターネットの記事】



【インタビューの前に準備したメモ】

〈インタビューの目的〉
星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。

〈インタビューを通して知りたいこと〉

- ・「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。
- ・「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
- ・社会で働く上で何が大切だと思うか。

正答

- 事例は示されているが、星野さんの考えとは内容が矛盾している点。
- 事例は示されているが、星野さんの考えが書かれていない点。
- 星野さんの考えは示されているが、その理由が書かれていない点。
- 星野さんの考えと理由は示されているが、理由として不十分である点。

二 南さんが「インタビューの前に準備したメモ」に——線部①「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。」と書いたのは、「インターネットの記事」のどのような点に気付いたからだと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

正答率	伊丹市	66.2%
	全国	65.1%

無解答率	伊丹市	0.3%
	全国	0.2%

「2」と誤答した生徒	
伊丹市	20.9%
全国	22.2%

★記事の内容について、「考え」を示した情報を捉えることに課題がある。

出題傾向

意見と根拠などの関係について理解する力が問われている

課題

書き手の考えに対する理由や根拠などの関係を捉え、文章に書かれている内容を正確に理解することに課題がある

改善策

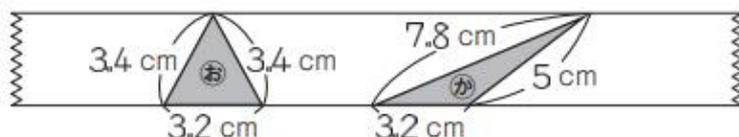
・「原因と結果」、「意見と根拠」、「具体と抽象」などの情報と情報との関係について理解し、実際の場面で活用させる

・情報相互の関係に注意して、不足する情報がないか、その関係が適切かなど、情報と情報がどのように結びついているのかを捉えさせる

えいたさんたちは、テープを持っています。テープの上の直線と下の直線
は平行で、テープのはばはどこも等しくなっています。



(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような③と④の2つの
三角形をつくります。



正答率 伊丹市 22.9%
全国 20.8%

無解答率 伊丹市 2.8%
全国 4.0%

上の③と④の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。
下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ③の面積のほうが大きい。
- 2 ④の面積のほうが大きい。
- 3 ③と④の面積は等しい。
- 4 ③と④の面積は、このままでは比べることができない。

正答



伊丹市においては、
36.2%の児童が3を選択(正答)(全国 37.3%)
31.8%の児童が4を選択(誤答)(全国 26.6%)

(解答例)

20.7%の児童が、4を選択したわけとして「高さについて具体的な長さが示されていない」ことを書いている

三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。③と④の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。③と④の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、③と④の面積は等しいです。

出題傾向

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、具体的な長さ(高さ)がわからなくても、面積は同じであることを言葉や数を使って記述する力が問われている

課題

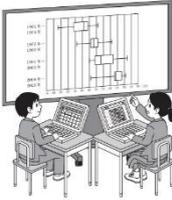
具体的な長さ(高さ)がわからない三角形の面積の大小を判断する力に課題がある

改善策

- ・ 平行線に挟まれた平行四辺形や三角形の面積を比べるなど具体的な活動を通して、図形の性質を習得させる
- ・ 課題に対して判断した理由を、数学的な表現(平行線や三角形の性質等)を用いて的確に説明できるようにする

各年の黄葉日

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

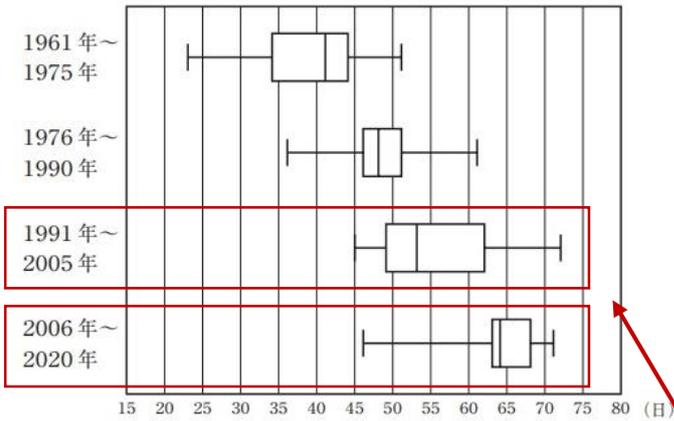


7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日^{おうようび}といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。

そして、二人は次のような表にまとめました。

黄葉日までの経過日数の分布



二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

	経過日数(日)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうだね。」
 啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」
 一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

正答率
伊丹市 36.8%
全国 33.6%

無解答率
伊丹市 14.9%
全国 22.8%

(解答例)

1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも、2006年～2020年の箱ひげ図の箱の方が右側にある。したがって、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある。

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

出題傾向

複数の集団のデータの分布傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力が問われている

課題

箱ひげ図の箱の位置や四分位数の違いから分かる情報を根拠に、傾向を読み取り、説明することに課題がある

改善策

データの分布傾向を読み取って判断し、その理由を数学的な表現(箱ひげ図の箱の位置や四分位数等)を用いて的確に説明できるようにする

令和5年度全国学力・学習状況調査問題 中学校英語(大問7(2))

- 7 下の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

正答率 伊丹市 34.2%
全 国 34.7%

無解答率 伊丹市 0.6%
全 国 0.7%

段落ごとに、重要なポイントを
押さえる必要がある

- (2) しおりさんが書いた英文の概要(文章全体の大きな内容)として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

正答

- 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.
- 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.
- 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.
- 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

伊丹市においては、28.8%
の生徒が2を選択(誤答)

出題傾向

日常的な話題について、短い文章の概要を捉える力が問われている

課 題

段落ごとの必要な情報を捉えて、文章全体の大きな内容をつかむことに課題がある

改善策

短い説明やエッセイ、物語などを読んで、文章の概要や重要なポイントを捉える活動など言語活動を積極的に取り入れる

1 授業改善

- ① **教科の楽しさ**が伝わる**体験**や**実感**を伴う授業の充実
- ② **主体的・対話的**で**深い学び**の実践（研究活動の活性化・「新たな教師の学びの姿」の実現）
- ③ **ICTの有効活用**
- ④ **指導と評価の一体化**
 - ・ 育成すべき資質・能力をめざした指導と評価の充実

2 誰一人取り残さない取組

- ① **個別最適**な学びの充実
 - ・ ICTの活用による、習熟度に応じた指導や計画的な家庭学習の推進
 - ・ 指導の個別化(補習学習等)と、学習の個性化の推進
- ② **教科担任制**や**習熟度別授業**の充実
- ③ **客観的評価**を活用したPDCAサイクルの確立
 - ・ 国の調査に加え、学校独自の学力調査等の導入
 - ・ 低学年から、学年ごとにつまづきを把握し、学校全体による組織的な学力の向上

3 保幼小中の接続

子どもの**発達**と**学びの連続性**を重視

- ・ 子どもをめぐる情報の伝え合い・共有
- ・ 互いに力を発揮する子ども同士の交流
- ・ 教育・保育における相互理解
- ・ 環境や学びのつながりの工夫
- ・ 育成すべき資質・能力を見通した教育課程の構築

学 校

確かな学力の育成

家 庭

地 域

1 基本的な生活習慣の確立

- ① **朝食**をしっかりとる
- ② **就寝時間**を守る
- ③ **スマホ・ゲーム**の時間を決める

2 主体的な学習習慣の確立

- ① 計画的な**自主学習**を行う
- ② **読書習慣**を確立する

社会性や人間性の育成

- ① **あいさつ**ができ、**礼儀正しい**子どもを育てる
- ② **学習環境**を整備する
 - ・ **土曜学習**を通して、学びへの興味・関心を高める

自己肯定感の育成

- ① **現状**を直視し、**目標**を持ち、**常に考える**
- ② 子どもの**話**を**しっかり聞き**、**よいところを褒める**

これまでの「伊丹市の学力の現状と対策」については、こちらから↓

